

## 東京レインボープライド 2024 フェスティバルブース出展報告

性の平等に関する委員会委員長 金城 美江 (67期)

### 1 イベント概要

東京レインボープライド（以下「TRP」という）は、特定非営利活動法人東京レインボープライドの開催する、LGBTQをはじめとするセクシュアル・マイノリティの存在を社会に広め、「性」と「生」の多様性を祝福するイベントで、アジア最大級のセクシュアル・マイノリティ関連イベントです。1994年に東京で日本初のプライドパレードが開催されたことを契機に、2012年から毎年開催されています。

TRP2024では、「変わるまで、あきらめない。」をテーマに、2024年4月20、21日に代々木公園でのプライドフェスティバル（のべ動員数120,000人／150,000人）と、21日の渋谷周辺でのプライドパレード（参加者15,000人／梯団数60）が実施されました。なお、4月19日から開催予定でしたが、強風のため急遽同日は中止となり2日間に縮小されたものの、のべ動員数・参加者数は過去最大でした。

### 2 当会の出展ブースの様子

性の平等に関する委員会セクシュアル・マイノリティプロジェクトチームは、プライドフェスティバルのYellow28ブースに出展しました。昨年度に引き続き、東京三弁護士会多摩支部レインボーメンバーズにもご協力いただき、当会や多摩支部のセクシュアル・マイノリティの法的問題に対する取組みを広く来場者にアピールしました。ブースでは、当会の運営するセクシュアル・マイノリティ電話法律相談や多摩支部のレインボー相談のチラシ、当会の発出した意見書等とよくある相談例をまとめたチラシ（写真参照）を配布して当会の意見表明を広く周知するとともに弁護士へのアクセスを促しました。また、当会が出版したセクシュアル・マイノリティに関する書籍や、当委員会が毎年実施している公開学習会やSOGIに関する会長声明の紹介、当会へのメッセージを受け付けました。温かい反響にこの場を借りて御礼申し上げます。



配布チラシ（表面）

近時、セクシュアル・マイノリティに関する重要裁判例が相次いでいることから、来場者の関心も強かったように感じました。また、コロナ禍が落ち着いたことで外国人来場者も増えたように見られ、言語の問題も可視化されました。

同性カップルで参加している来場者も多く、チラシを2部渡そうとすると「1部で大丈夫です。一緒に見るんで」「私たち一緒に暮らしているんで1部で大丈夫です」と1部は辞退される方もあり、当たり前前の姿が当たり前のこととして存在するTRPならではの微笑ましい光景もありました。

「他の弁護士会でイベントを共催して好評だったので東京弁護士会でもどうですか？」と訪れた団体もあり、ネットワークの広がりもありました。

当委員会では、今後もセクシュアル・マイノリティの問題の取組みの拡充に努めます。